

閉会挨拶

常務理事の下野でございます。

本日は大変貴重なご講演とシンポジウムを通じた活発な意見交換、また総括的な取りまとめをいただき、最後には視聴者からの質問にも答えていただきました。

盛りだくさんの内容で本当にありがとうございました。本日も登壇いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

本日のセミナーを通じまして、個人的には五つの点が印象に残りました。

一つ目は、東アジアでは様々なニーズに応じた sea&RAIL などの物流ネットワークが急速に開拓・発展していることです。

二つ目は、日本企業は海外進出は進んでいるものの、労働生産性の向上や物流の標準化の取組が依然として課題であること。

三つ目は、韓国企業は様々な課題を抱えつつも、国際高速船やユーラシア横断鉄道等を活用したサービスが進展していること。

四つ目は、SITC グループでもビジネスチャンスをとらえた様々な工夫や高度な物流サービスが展開されていること。

そして、最後の五つ目は、今後の取組として、RCEP 下で日中韓、さらには ASEAN との間で官民一体となった協力体制が不可欠であることです。

これらの点を含めて、いろいろなことが浮き彫りになったのではないかと思います。

国際情勢はコロナやウクライナへのロシアの侵攻など、大変不透明な状況ではありますが、東アジアの物流の発展に向けたポテンシャルは極めて大きく、RCEP 下で日中韓のみならず ASEAN までを組み込んだグローバルサプライチェーンの再構築など新たな動きがますます加速していくのではないかとの思いを改めて強く感じた次第です。

本日は長時間にわたりまして誠にありがとうございました。